

埼玉りそな銀行の ネイチャー・ポジティブに向けた取組み



2025年7月30日(水)

株式会社埼玉りそな銀行
経営企画部 サステナビリティ推進室 鈴木 学

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

【グループ構成】



【店舗網】



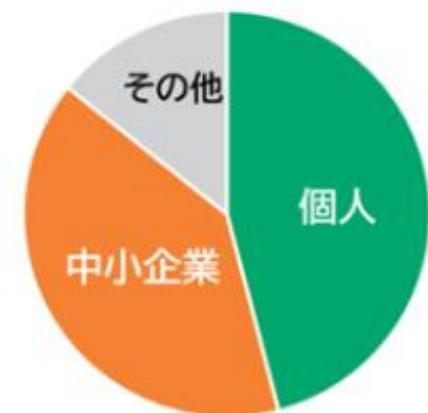
【お客さま基盤】

【個人顧客数】	1,600万人
【法人顧客数】	50万社
【預金】	63兆円
【貸出金】	44兆円

(2025年3月末)

【貸出金の内訳】

約8割が中小企業・個人向け



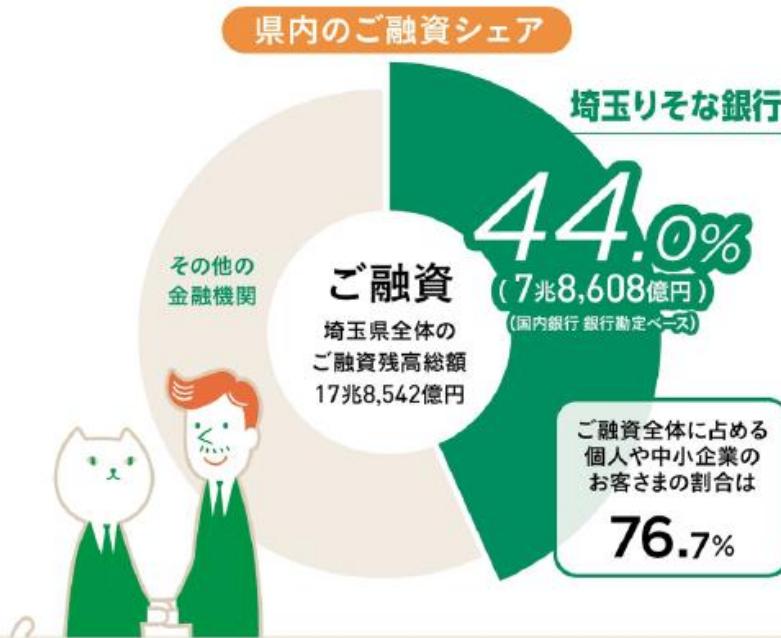
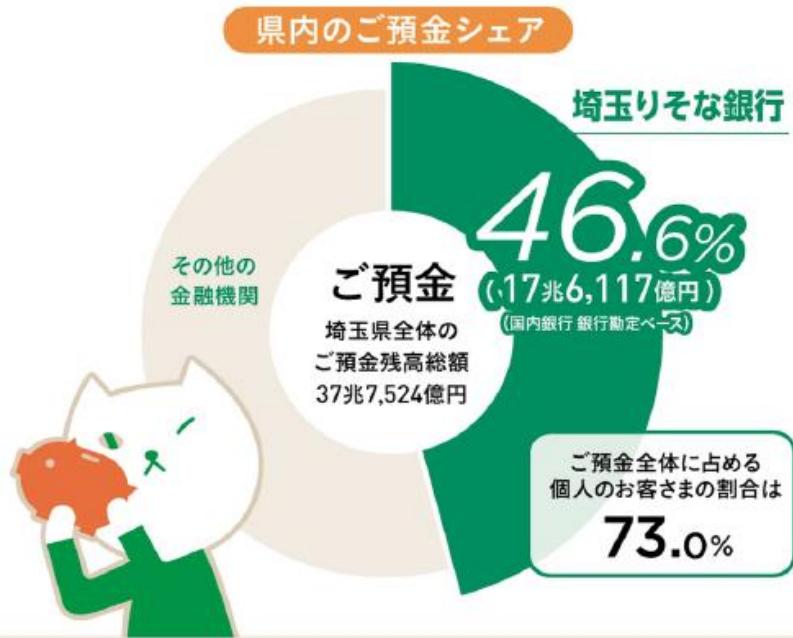
2025年3月期 財務・非財務ハイライト



▼財務情報

おかげさまで県内トップシェア

ご預金・ご融資の県内シェアはともに40%超を確保



りそなグループの
パーカス

金融+で、未来をプラスに。



埼玉りそな銀行の
目指す姿

渋沢翁が掲げた道徳経済合一の理念が息づく地域金融機関として
埼玉県の皆さんに信頼され、地元埼玉とともに発展する銀行

中期経営計画（2023～2025年度）

埼玉県5か年計画～日本一暮らしやすい埼玉へ～（2022年度～2026年度）をベースに策定

位置付け

『価値の良い流れを創り出す』共創社会のハブへと進化する3年間

共創価値

安心で豊かな社会の実現

事業・暮らしの安心
金融リテラシー向上
安心・安全な金融インフラ



持続的な成長への貢献

挑戦への伴走
変化への対応
次世代への発展的承継



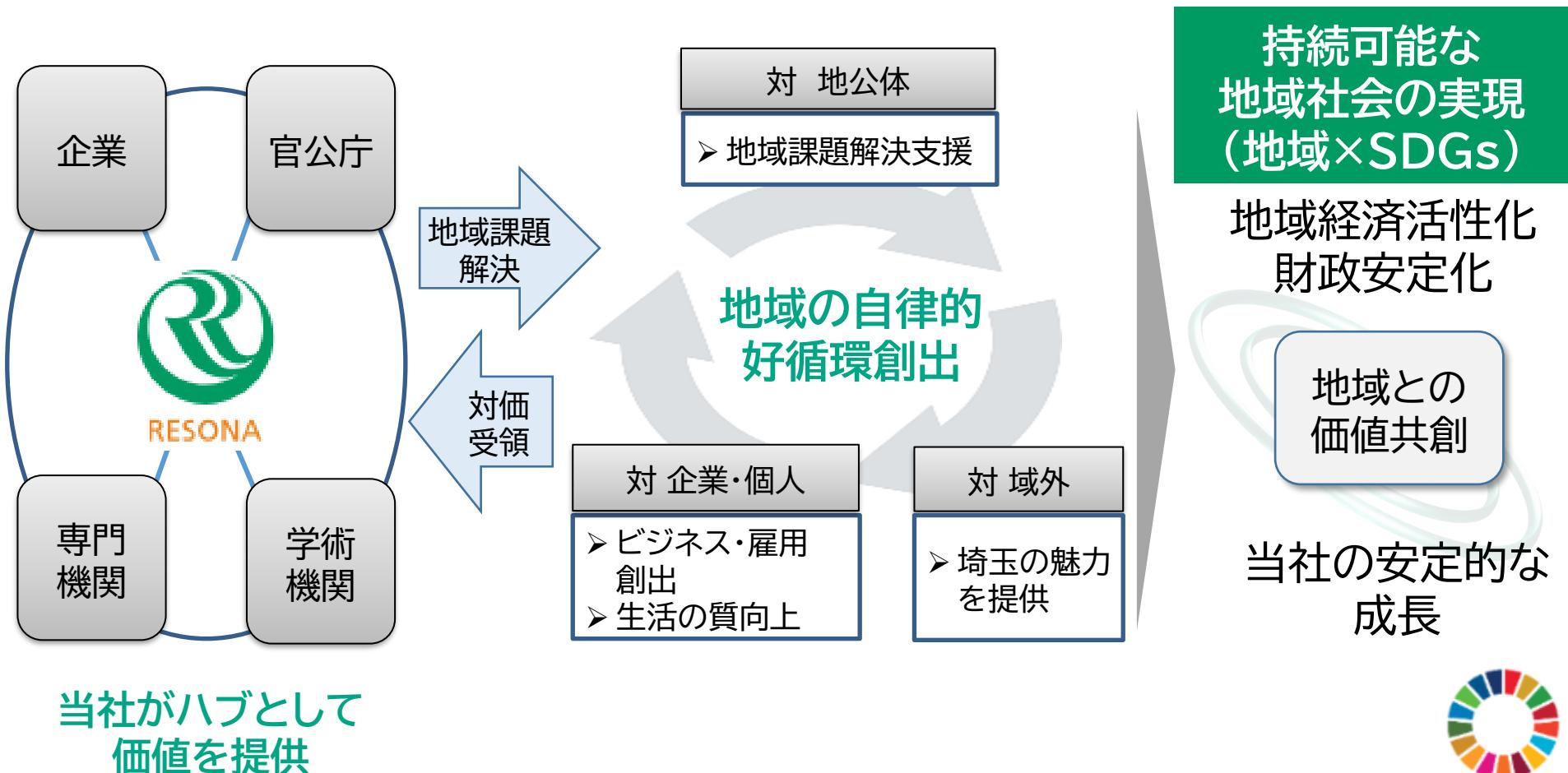
魅力ある埼玉の創造

地域課題の解決
人・企業の流入
誰もが輝く社会



◆「持続可能な地域社会の実現(地域×SDGs)」に向けて

- 金融機関がハブ機能を発揮することで、地域の自律的好循環を創出し、「持続可能な地域社会づくり」と「当社の持続的な成長」を両立することを目指します



- 埼玉県は、「埼玉県生物多様性保全戦略(2024年度～2031年度)」を策定。県の総合計画である「埼玉県5か年計画」等も踏まえ、生物多様性の保全施策を総合的かつ計画的に推進するもの
- 埼玉りそな銀行の中期経営計画も「埼玉県5か年計画」をベースに策定しており、高い整合性を有しています

埼玉県の 目指す将来像

施策展開の 方向性

ネイチャーポジティブ(自然再興)の実現

横断的・基盤的戦略

- 生態系の健全性の回復
 - ・ OECM等の取組の推進、支援
 - ・ 希少野生動植物の保全
 - ・ 外来生物対策
 - ・ 野生鳥獣の適正な保護管理
 - ・ 生態系に配慮した持続可能な農業の推進
- 生物多様性保全に係る取組を支える基盤整備
 - ・ 動植物に関する情報の収集・管理・発信
 - ・ 多様な主体と協働した保全活動の促進
 - ・ 普及啓発・担い手育成
 - ・ SDGs官民連携の推進

生態系エリア別戦略

- 多様な森林づくり
- 森林生態系の保護
- 多自然川づくり
- 湿地生態系保全
- 里地里山整備の促進による生物多様性の向上
- 身近な緑の創出の推進、都市公園の整備による緑の創出



埼玉りそな銀行の目指す姿

埼玉県の皆さんに信頼 され地元埼玉とともに 発展する銀行

ハブ機能を発揮することで、地域の自律的好循環を創出し、「持続可能な地域社会づくり」と「当社の持続的な成長」を両立すること



- りそなグループは「りそなグループ環境方針」を制定し、気候変動・生物多様性への基本的な考え方や対応方針などを明確化しています
- 環境方針に沿って、自然保護活動への参画、ネイチャーポジティブ経済への移行に向けた自治体との連携など、お客さまや地域社会と一緒に社会課題の解決に向けて取り組んでいます

◆ 「りそなグループ環境方針」より抜粋

1. 環境に対するコミットメント

□ 生物多様性

自然と共生する社会の実現に向けて、事業活動における生物多様性の依存と影響を認識し、生物多様性への影響を回避または低減、保全に努めます。

また、金融サービス等の提供を通じて、お客さまの生物多様性に対する取り組みを支援します。

【参加している国際規範や原則、イニシアチブ】

パリ協定／Paris Agreement

気候関連財務情報開示タスクフォースによる提言／TCFD

自然関連財務情報開示タスクフォースによる提言／TNFD

責任投資原則／PRI

21世紀金融行動原則

CDP

気候変動イニシアティブ／JCI

- 当社グループは自社の企業活動だけでなく、法人や個人のお客さまへの融資や投資を通じた自然資本と広範に深く繋がりをもっています
- お客さまが自然資本へ依存・影響することによってもたらされるリスクと機会は、当社のリスクと機会に直結するものと捉え、お客さまや自然資本への影響等の把握・分析を進めています



【企業にとっての一般的なリスクと機会】

	リスク/機会	自然への依存度が大きい事業	自然への影響度が大きい事業
リスク	物理的リスク(慢性)	<ul style="list-style-type: none"> 自然資本の損失や価値の劣化を起因とした原材料の供給不足、調達コストの増加 	<ul style="list-style-type: none"> 自然資本の毀損に関与することなどによるレビュー・ショナルリスク
	物理的リスク(急性)	<ul style="list-style-type: none"> 異常気象・災害被害拡大に起因する事業施設への被害・業績悪化 	
	移行リスク	<ul style="list-style-type: none"> 自然資本の回復・保全に向けた政策転換・法規制強化への対応コストの増加や事業の中止 	<ul style="list-style-type: none"> 自然資本の回復・保全に向けた政策転換・法規制強化への対応コストの増加 戦略と行動の矛盾、取り組みや情報開示が不十分なことなどによるレビュー・ショナルリスク
機会	資源効率・製品・サービス	<ul style="list-style-type: none"> 少ない天然資源・エネルギーによる効率的なサービス・プロセスへの移行、資源不足に対するレジリエンス向上 省資源製品・サービスやグリーンソリューションの開発 地域の自然資源を経済価値化していくことによる新たなビジネス機会の獲得 	

- ネイチャーポジティブの取り組みは、サーキュラーエコノミー(循環経済)やカーボンニュートラル(脱炭素)への移行とも密接に関連しており、環境課題に対しては統合的に推進することが重要

ネイチャーポジティブ (自然再興の取組み)

資源の循環利用による
自然資本の持続性確保

持続的な資源の
供給確保

炭素の吸収源・
適応の強化

気候変動に伴う生態系へ
の損失の抑制

サーキュラーエコノミー (循環経済への移行)

【事例】:フードロス削減および地域振興を 目指したクラフトビールづくり

- 県内有数のイチゴの産地である久喜市では、収穫適期を過ぎると苗ごと抜かれて廃棄されていた
- フードロス削減と地域振興の両立を目指すために、当社は埼玉県/久喜市/生産者/市内のクラフトビール醸造所会社と連携
- 従来廃棄されていたイチゴをアップサイクルした、クラフトビールづくりに生かした取り組みを実現

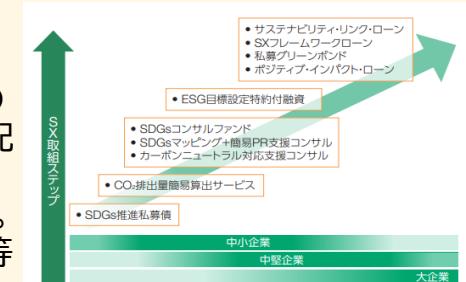


カーボンニュートラル (脱炭素社会への移行)

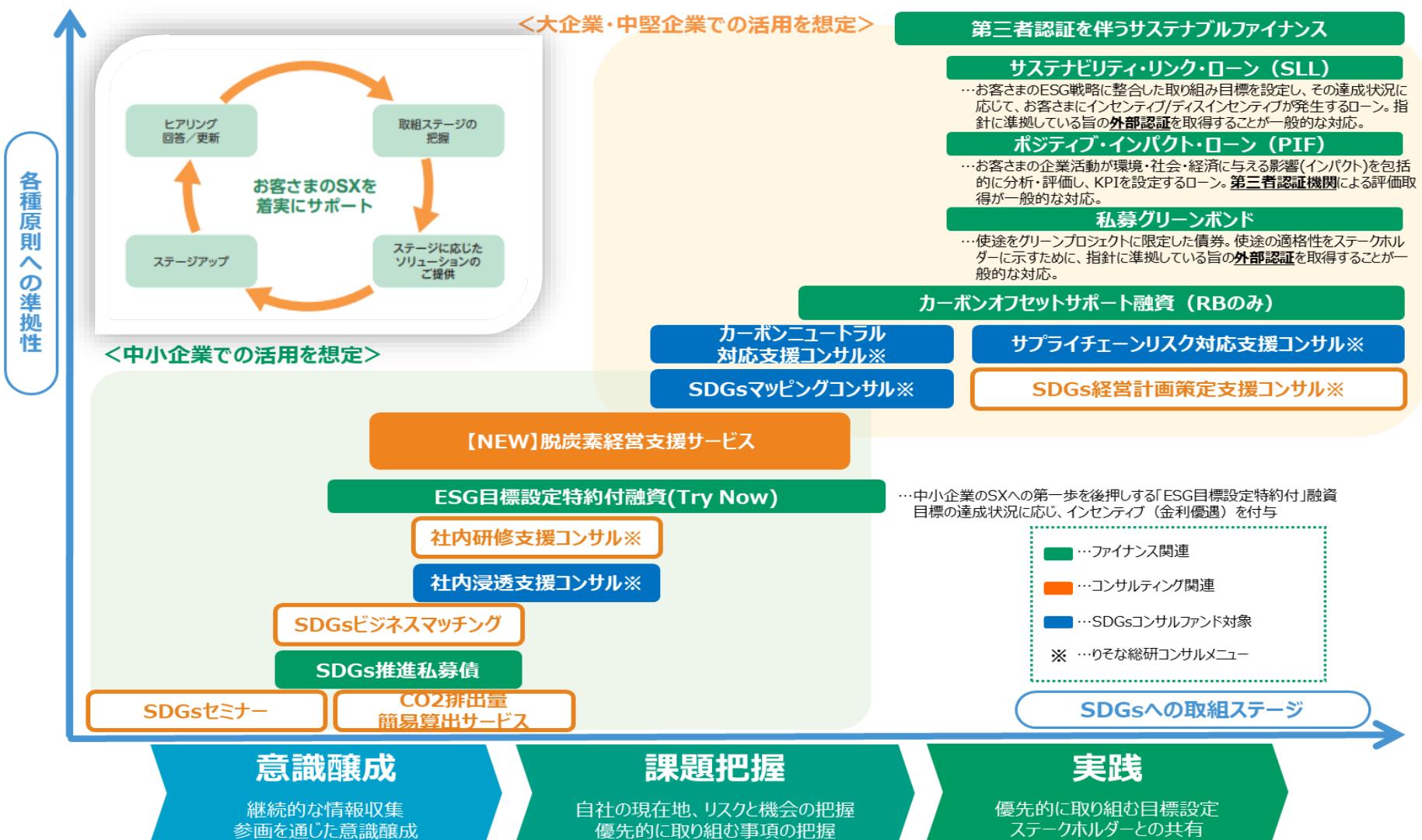
【事例】:法人/個人のお客さまの取り組み ステージに応じた脱炭素支援

- <法人>
お客様の意識・行動変化に向けた、お客様の現在地に合わせて支援する多様なソリューション

- <個人>
SX住宅ローンの取扱い、環境等配慮型住宅普及促進に向けた対応。
ESG投資推進 等



- お客様のSXおよびSDGsに関する取り組み状況を的確に把握し、それぞれのステージに応じた最適なソリューションを提供することで、対話の深化と提案力の強化を図っています



- 埼玉りそな銀行は、事業活動における再生エネルギーの地産地消、紙使用量や廃棄物削減のほか、森林保全活動など幅広い取り組みを通じて自然資本の保全・回復に努めています
- 地域の環境保全やレジリエンスの向上を目的として、従業員やお客さまが自発的に参加できる生物多様性保全に関する取り組みを展開し、参加者の環境リテラシー向上を促進しています

取組事例



【埼玉りそなの森づくり】

- ✓ 埼玉県長瀬町・宝登山の森づくりを通じ、埼玉県の豊かなみどりを守り、次世代に引き継ぐ活動
- ✓ 苗木植樹、下草刈り、清掃等実施



【ムサシトミヨの保全活動】

- ✓ 絶滅危惧種に認定されている埼玉の魚「ムサシトミヨ」の生息環境整備に向けた熊谷での活動
- ✓ 下草刈りを実施



【見沼田んぼクリーンウォーク】

- ✓ 都市近郊の田園風景を守るため、自然や歴史に触れながら「見沼田んぼ」を清掃
- ✓ 地域の企業・団体とともに活動

活動効果

- 従業員の自分ごと化、環境意識向上、エンゲージメント向上
- 地元企業や大手企業の支社、地域団体、地域住民との協働により、地域との新たなつながりが創出
- 地域に根差した取組みとしてメディア・SNS等にも掲載され、ブランド価値が向上

- 埼玉りそな銀行の子会社「地域デザインラボさいたま」は、まちづくり、河川利活用、空き家対策など分野に加え、観光関連・地域DX関連などの領域にも注力する地域課題解決事業会社
- これまで、川を楽しむコンテンツの実現や環境保全の取組み等を通じて、地域の自立的・好循環の実現に向けた活動を実施

取組事例

【SAITAMAリバーサポーターズプロジェクト支援】

【概要】

- 川の豊かな恵みを持続可能な形で利用していくため、個人と企業の参画促進や連携強化を目的としたSAITAMAリバーサポーターズプロジェクト事業の支援業務を受託

【業務内容】

- SNS等活用した情報発信
- 企業会員・個人会員の登録促進
- 企業とのマッチングを通じ、川との共生や魅力創出に向けたプロジェクトを企画・運営



【支援した河川の例】

- 大相模調節池(越川レイクタウン)
- 高麗川河川敷(巾着田)
- 入間川河川敷(飯能河原)



【大森調節池のお手入れと生きものウォッチング】

【概要】

- 調節池の治水機能を維持し、かつ開けた水面を確保して、多様な水辺環境を保全するため、市民・企業・行政の連携で、ヨシ・ガマなどの植物を刈って運び出すワークショップを開催

【業務内容】

- 企画・調整、当日の運営支援 等



※主催: Saitama Riverbank Project / 公益財團法人埼玉県生物系保護協会 / 大森調節池お手入れと生きものウォッチング

~人と守り、生きもので盛わう大森サンクチュアリー~
大森調節池のお手入れと生きものウォッチング

西側で池に入って、西側高島橋を右へ、JR線を左へ、水道の古川橋を右へ絶対れます。
JR水道にはまたたかのゆの命(財産)を守り、普段は生きるもの豊かな川となる大森調節池を、市民・企業・行政のパートナーシップで守りながら活動します。

特別休憩 参加費無料

2025年2月1日(土) 9:15~10:00
※雨や雪の場合は、2月9日(日)に都合
【集合】入間市老人福祉センター「やまくり荘」入口
(入間市宮寺2655-1)
※受付後、徒歩400mの「大森調節池」へ移動します

確定員 志趣30名 **備考** 表れてもいい服装、軍手、マスク、飲み物
■お申込み・お問合せ 01月30日(木)締切

(公財)埼玉県生物系保護協会 ecosaitama.volunteer@ecosys.or.jp
件名に「大森調節池イベント」、本文に「お名前」「性別」「住所(市町村まで)」「メールアドレス」を書いて送信ください。
【主催】(公財)埼玉県生物系保護協会
【協力】大森調節池の自然を考える連絡会、埼玉県(農業土壌整備事務所、河川整備課)



りそなグループ全体

- 「りそなの絆」～被災地植樹プロジェクト～ (@宮城県)

東日本大震災で大きな被害を受けた東北地方の森林や防災林の再生に取り組む活動（毎年約200人参加）



関西みらい銀行

- 関西みらい銀行の森づくり (@大阪府)

大阪府交野市で地元の森林を守り育てる活動
森林の整備、植栽を行うことで里山保全・生物多様性保全に貢献



【プログラム】

<午前>育樹活動:千年希望の丘(宮城県岩沼市)

<午後>2グループに分かれて防災学習を実施

- ①震災時のリアルな体験に基づくBCPについて映像視聴
- ②震災遺構小学校を見学。児童や地域住民の命を守り抜いた当時の状況を語り部さんからの講話



【参加しようとしたきっかけ】

- ✓ 個人でボランティアを探したり申し込むのはハードルが高いが、会社経由だと参加しやすい
- ✓ 自分で目で見て体験できる。本イベントでの他の社員や地域の型との交流機会に期待

【参加後の感想】

- ✓ 地域貢献、地道な活動を通じた心の触れ合いと、真の地域のこまごとに接し自分ごとにつながった
- ✓ 被災の記憶や教訓を風化させない継続した活動が大切

みなと銀行

- 3海峡クリーンアップ大作戦 (@兵庫県)

鳴門海峡の渦潮の発生に重要な3海峡(鳴門、紀淡、明石)の環境を守るために、海岸清掃を通じた海峡保全活動



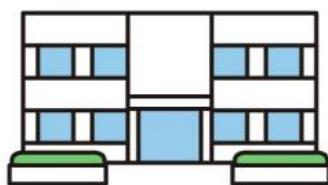
- ネイチャーポジティブの実現に向けては、企業・団体、県民、行政など多様な主体の積極的な参画が不可欠
- 埼玉りそな銀行は、地域金融機関として地域の皆さんと連携し、自然資本を地域の重要な財産として保全・育成するとともに、その多様な機能を地域の魅力・資源として最大限に活用することで「日本一暮らしやすい埼玉」の実現を目指してまいります

ネイチャーポジティブへの取組みにおける”こまりごと”



地域企業

- 取り組みたいが、**何から始めるべきか分からない**
- **他社の好事例や認証ガイドライン等**があれば心強い
- 自然共生サイト取得したいが、**予算が不足(1社では無理)**
- **人手や専門知識が不足**している



自治体・団体

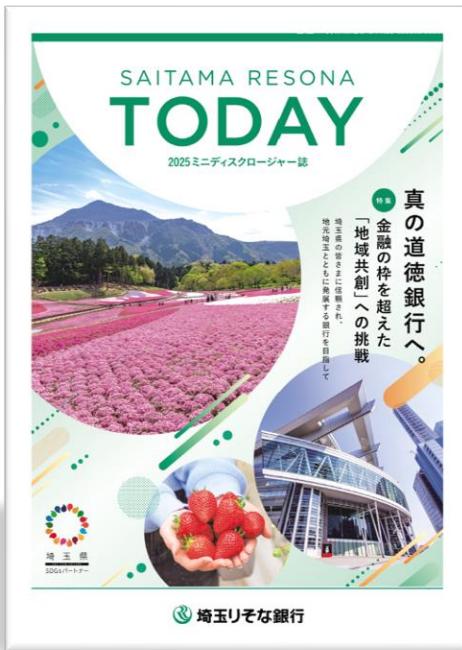
- 地域企業や金融機関との**連携機会が限定的
(単発で終わる)**
- **担い手不足**で、継続的な保全が難しい
- 専門人材や**活動資金の支援**がほしい

解決の方向性 (自治体に期待すること)

- 勉強会・交流会の定期開催
実践的なガイドラインや
好事例集の整備・発信
- ネイチャーポジティブに特化した**相談窓口や伴走支援体制の整備**
- 活動費用への**補助金制度、税制優遇導入**
- 企業と行政や地域のパートナーがつながる**マッチングの仕組み構築**
- **ビジネスモデルの創出**

ご清聴ありがとうございました

今後ともよろしくお願ひいたします



当社取り組みを紹介していますので
ぜひご覧ください♪
(QRコードからもアクセスできます)

